

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)

【公開番号】特開 2016-196813 (P2016-196813A)

【公開日】平成 28 年 11 月 24 日 (2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2016-065

【出願番号】特願 2016-166431 (P2016-166431)

【国際特許分類】

E 0 6 B 9/84 (2006.01)

E 0 6 B 9/82 (2006.01)

E 0 6 B 9/17 (2006.01)

【F I】

E 0 6 B 9/84 C

E 0 6 B 9/82 B

E 0 6 B 9/17 M

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 15 日 (2017.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブレーキを解放してシャッターカーテンを自重降下させるシャッター装置において、
第 1 の方向に移動してブレーキを解放し、第 1 の方向と反対の第 2 の方向に移動してブレーキを復帰させる作動手段と、
前記作動手段を第 2 の方向に移動するように当該作動手段に連結された復帰ワイヤと、
シャッターカーテン下端の座板の端部以外の開口部に露出する部分に設けられ、前記復帰ワイヤが巻回される回転体と、
前記座板に設けられ、前記回転体に係止して当該回転体の回転を規制するロック部材と

、

を備え、

前記復帰ワイヤの他端側は、シャッターカーテンの自重降下に伴って前記回転体が回転することでシャッターカーテン面部に沿って引き出し可能に収納されており、

前記座板は、上座板と、上座板に対して相対的に上動可能な下座板とからなり、

前記上座板には、前記回転体を被覆するカバー体が設けてあり、

前記カバー体は、前記回転体から引き出された前記復帰ワイヤを挿通させる樹脂ガイドを備えており、

前記ロック部材は、下座板の上動に連動して、当該ロック部材が前記回転体に係止する方向に移動するように構成されており、

自重降下するシャッターカーテン下端の下座板が障害物に当たると、前記ロック部材が移動して回転体の回転を規制して収納されている復帰ワイヤの引き出しを規制し、引き出しが規制された復帰ワイヤが前記作動手段を第 2 の方向に移動させてブレーキを復帰させる、

シャッター装置。

【請求項 2】

前記ロック部材は前記カバー体で被覆されている、請求項 1 に記載のシャッター装置。

【請求項 3】

前記回転体は前記カバー体に設けられている、請求項 1、2 いずれか 1 項に記載のシャッター装置。

【請求項 4】

前記ロック部材は前記カバー体に設けられている、請求項 1～3 いずれか 1 項に記載のシャッター装置。

【請求項 5】

前記樹脂ガイドは、前記カバー体の上壁に設けてある、請求項 1～4 いずれか 1 項に記載のシャッター装置。